

企画展「チベット・ポン教の神がみ」関連

研究公演

ポン教の本質を探る



◆ 対談 ◆

ツルティム・テンジン (ポン教学僧) × 夢枕 獏 (作家)

【司会・解説】長野 泰彦 (国立民族学博物館 民族文化研究部教授)

平成21年4月26日(日) 13:00~14:30 [開場 12:30]

会場：国立民族学博物館 講堂 定員：450名 参加無料 (要申込・先着順)

主催：国立民族学博物館、財団法人千里文化財団

企画展「チベット ポン教の神がみ」関連

研究公演

ポン教の本質を探る

ツルティム・テンジン(ポン教学僧) × 夢枕獏(作家)

チベット宗教文化の基盤をなすポン教の本質について、夢枕獏が迫る。

【日時】平成21年4月26日(日) 13:00~14:30[開場 12:30]

【場所】国立民族学博物館 講堂

【対談】ツルティム・テンジン(ポン教学僧) × 夢枕 獏(作家)

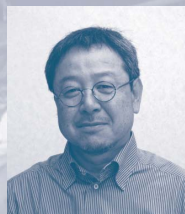
司会・解説：長野 泰彦(国立民族学博物館 民族文化研究部教授)



ツルティム・テンジン

ツルティム・テンジン師は1967年12月生まれのポン教学僧で、現在ネパール、カトマンズ盆地の北西部にあるティテン・ノルブツェ寺瞑想学塾(ドゥツタ)の堂長(ケンポ)を務めている。19歳で出家し、論理学や中観を学んだ後、ゾクチェン教学研究に転じ、1994年ティテン・ノルブツェ寺でゲシェ(博士)位を取得。2003年オックスフォード大学で儀礼用具トルマに関する共同研究に参画。

ティテン・ノルブツェ寺は、ボン教の高僧で、ロンドン大学でスネルグローヴ教授と研究を行ってきたテンジン・ナムタク師が1987年に設立した新しい学問寺で、現在約150名の若い僧侶達がボン教の教育階梯に則り、修行を続けている。



夢枕 獏(ゆめくら ばく)

1951年神奈川県生まれ。東海大学文学部日本文学科卒、77年にプロ作家活動を開始。「キマイラ」「サイコ・ダイバー」「闇狩り師」「餓狼伝」「陰陽師」などのシリーズで読者の支持を集める。

89年「上弦の月を喰べる獅子」第10回日本SF大賞受賞。98年「神々の山嶺」で第11回柴田錬三郎賞受賞。「陰陽師」など漫画化作品や映画化された作品が多数あり、近年の著作に「沙門空海 唐の国にて鬼と宴す」や「シナン」、『東天の獅子』などがある。

趣味は「釣り」の他、カヌーや登山などアウトドア全般と写真撮影、陶芸、書。狂言、歌舞伎、落語、講談など古典芸能鑑賞や格闘技観戦など。

©夢枕獏事務所

参加申込方法

「4月26日研究公演参加希望」と明記の上、①郵便番号、②住所、③氏名、④連絡先電話番号を記載し、往復ハガキか電子メールにてお申し込みください。2名様以上でお申し込みの場合は、それぞれの方の①~④を必ず明記してください。応募者多数の場合はご参加いただけない場合もあります。

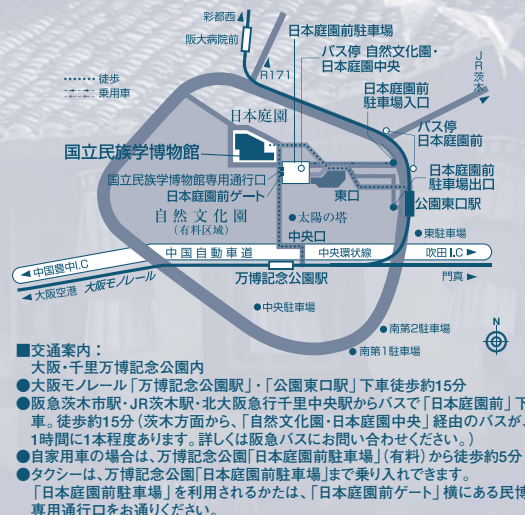
※参加申込をいただいた方の個人情報は、参加証の発送に使用いたします。

参加申込・お問い合わせ先

財団法人千里文化財団 事業部
〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園1-1
e-mail bon@senri-f.or.jp
http://www.senri-f.or.jp/

注意事項

- ・会場には必ず参加証をご持参ください。参加証はお一人様一枚となっております。
- ・参加証がない方は会場にははいれませんのでご注意ください。



国立民族学博物館

企画展「チベット ポン教の神がみ」

会期：4月23日[木] — 7月21日[火] 会場：常設展示場内

開館時間：午前10時~午後5時(入館は午後4時30分まで)

休館日：毎週水曜日[ただし4月29日(水)・5月6日(水)は開館、4月30日(木)・5月7日(木)は休館]

※常設展観覧料でご覧いただけます。

みんなく
携帯サイト



みんなくウェブサイト

http://www.minpaku.ac.jp/

「みんなく ウィークエンド・サロン 研究者と話そう」

研究公演にひきつづき、企画展「チベット ポン教の神がみ」展示場にて開催。

企画展実行委員長長野 泰彦(国立民族学博物館 民族文化研究部教授)がボン教について語ります。

日時：平成21年4月26日[日] 15:30~16:30

会場：国立民族学博物館 企画展「チベット ポン教の神がみ」

話者：長野 泰彦(国立民族学博物館 民族文化研究部教授)